

未来を担う

平成29年度

私たちの主張

選挙や政治について、日頃考えていることや感じていること、伝えたい想いを、今年度18〜20歳になる皆さんから募集したものです。

問い合わせ

小松市選挙管理委員会
(総務課内) ☎24・8151

最優秀賞

選挙について

航空自衛隊小松基地

木戸

真登奈さん



私は今まで選挙に関して興味を持っていたことが無かった。その為、この機会を通して選挙について考えた。

まず選挙について何故今まで興味を持たなかったのかを考えた。原因として、第一に、若年層は政治に関わらないものだと思われていたところがあった。真剣に政治について考えたことが無く、国会で自分よりも年を重ねた方たちが集まり、議論している印

象で、若年層には関係の無い世界だと勝手に思い込んでいた。しかし、実際の所は、国会で議論されている内容には、若者や子供に対する政策が多くあった。その中には、給付型奨学金を創設する、保育所を作り保育士の待遇を改善し、待機児童問題を改善する、最低賃金の格上げ等、と若年層の中でも児童から学生、働いている若者に対しての政策が幅広くあり、目から鱗であった。

第二に、私が実際に投票したとしても何も変わらないだろうと思っていた。しかし、選挙について調べていく中で気になる言葉を見つけた。それは、「政治を動かすのは、国民ではなく、投票をする人だ」という言葉だ。あまりにも極端な考え方だと感じたが、調べてみると納得した。

政治への不満として年金について等、お年寄りへの政策ばかりではないかというものがある。その理由はそういう政策ばかりあるのではなく、そのようなお年寄りに嬉しい政策をお年寄りが投票に行き、実現させているか

らだという記事を見つけた。言われてみると、全くその通りである。つまり、若者の住みよい環境を作る為には、若者が投票し、政治を少しでも良いものにしていくという意思を持って投票することが大切なのだと分かった。

以上のことから、今までは選挙に興味を持ったことが無かったが、調べていくうちに、選挙の概要や、選挙で投票することの重要性を理解した。私たちが若年層は、私のように選挙についてほとんど知らない者が多くいると考える。今回私がこの機会を通して、政策を聞いて投票に行こうと意思を得たように、多くの人に投票に行くことの重要性を知ってもらう為、私自身、友人と選挙について話していきたいと思う。そして、それにより更に多くの若年層が投票所へ足を運ぶことを期待する。

そのほかの入賞者の皆さん(敬称略)

●優秀賞

政治に関われる貴重な機会
私たち若者がつくるべきもの

前屋倉 一郎(航空自衛隊小松基地)
小原 暢子(小松短期大学)

●小松ライオンズクラブ会長賞

若者の主張
若者の投票率低下について
一票の責任に気付くことで
選挙について
未来を担う私たちの主張

坂本 隆一(航空自衛隊小松基地)
川口 瑞貴(航空自衛隊小松基地)
木下 美咲(航空自衛隊小松基地)
今村 佳祐(小松市消防本部)
江端 麻帆(こまつ看護学校)

第19回

こまつまちなみ景観賞

こまつまちなみ景観賞は、都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に毎年行っています。今年は「やさしいまち」をテーマに加え、応募作品全62点の中から次の7点が選ばれました。

問い合わせ

まちデザイン第1課 ☎24・8099

まちなみ部門

北村邸【高堂町】



重厚で風格のある既存家屋の造りを尊重しつつ、バリアフリー対応を図っている。街区の風情の保持・継承にも寄与している。

吉田邸【長田町】



前面は開放的な空間が広がっている。端正で現代のかつ隣接家屋群と同調させたデザインであり、新旧が共存した景観を創出している。

夜間景観部門

BRASSERIE 1945【土居原町】



築71年の町家を洋風飲食店として改修。ほのぼのとした親しみ感のある照明が、夜のにぎわいと風情をおしゃれに演出している。

広告部門

まそらデイサービス【西町】



緑の植え込みの中に、木地色と黒色を基調としたやさしさと落ち着きのある名称看板を設置。建物も周囲の街並み景観とよく調和している。

日本キリスト教団
小松教会【本町】



温かみのある杉板を多用。角地の特徴を生かした印象的な外観を築き、やさしさと安らぎ感のある街区景観を生み出している。

TAKAGAHARA CAFE
【滝ヶ原町】



滝ヶ原石などを活用し、古民家を開放的でおしゃれなカフェとして再生。山里の景観を楽しみながらリラックスできる場を提供している。

イオンモール新小松
【沖周辺土地区画整理事業区域内】



温かみのある色調のLED照明で全体を統一し、郊外部の夜間景観の魅力度とおもてなし度のアップに寄与している。

講評

選考委員長
森 俊偉さん
建築家
金沢工業大学教授



今年は地域の景観特性をよく理解し、周辺環境との調和に配慮したものが多く見られました。今後も品位と魅力、にぎわいとやさしさに溢れる都市・小松が形成されていくことを期待します。

受賞作品
紹介パネル展

●2月8日(木)～15日(木) イオンモール新小松 ●2月16日(金)～23日(金) 市民センター ●2月26日(月)～3月5日(月) JR小松駅コンコース ●3月6日(火)～13日(火) 南部公民館 ●3月14日(水)～23日(金) 市役所エントランスホール